

## 5. 発災時の状況

地震の発生は週末の午後、天候は晴れで午後2時頃には4.5mの西南西の風が吹いていたが、地震発生後曇天となり、午後4時頃からは雪が舞った。

市役所本庁舎では市議会3月定例会本会議が開催されていたが、議長が暫時休議を告げ議会が中断した。地震直後の午後2時50分には福島市災害対策本部が設置され、局においても同時刻に福島市水道局災害対策本部を設置した。

当日は平日の日中であったため、現場等に出ていた職員も含め全職員が即日震災対応にあたることが出来た。

なお、局が使用していた上町の市役所分庁舎は、余震の影響による倒壊が懸念されたため、当初北側駐車場西側倉庫内で情報収集を行ったが、寒気が増してきたため、午後5時55分に分庁舎1階配水課内に対策本部を移した。



▲北側駐車場での情報収集及びポリタンクに飲料水を準備する職員



▲配水課内に移した対策本部

## (1) 地震発生時の職員

地震発生当日の職員は、年度末を迎え、例年通り議会对応や決算事務、完成図書整理などの作業を慌ただしく進めていた。

職員は、各執務室内に鳴り響いた「緊急地震速報エリアメール」と「逃げろ」の声により一斉に北側駐車場に避難したが、車両やフェンス、壁などにつかまらなくては立ってられない程の揺れを経験した。

また、防寒服を取りに入った職員が目にした庁舎内は、キャビネットや図書などが散乱した状態だった。

その後も余震が立て続けに起きる中、竣工検査などで現場に行っている職員とは連絡が取れなかったが、随時安否確認を行うこととし、直ちに水道施設の被害状況確認に移行した。



▲震災直後の水道局が使用していた市役所分庁舎内部と北側駐車場に避難した職員

## (2) 被害状況の確認

地震発生直後は、分庁舎、施設管理センターとも余震による倒壊が懸念され、停電は無かったものの、屋内にある災害時優先電話や水道事業用無線の親機を使用することが困難だったことから、各受水池及び配水池の配水量や水位確認は、施設管理センターの中央監視盤や受・配水池の現場計装盤を直接確認する作業となった。

過流量が発見された系統の仕切弁操作や漏水箇所特定のため、送・配水幹線ルートでの点検作業に向ったが、国道4号大仏橋の通行止めや、停電による信号機の不作動等により主要幹線道路は渋滞となり、現地到着までに時間を要した。

また、企業団の送水管路が破損し送水が停止され、復旧までに数日を要するとの連絡があったことから、直ちに各水系の配水量、受水池、配水池の水位を基に断水になる区域とその時刻予測を1時間ごとに行った。

なお、対策本部を屋内に移してからは、災害時優先電話及び水道事業用無線が有効な通信手段となった。